

生成AIを学びの伴走者に！

各校で進んでいく ICT教育

授業の中で生成AIの活用がスタート！

「江東区立学校生成AI利活用ガイドライン」に沿って、各校で児童・生徒による生成AI「Gemini」の活用が始まりました。「KOTO子どもAIルール」の基、生成AIリテラシーを育み、児童・生徒が自身の学習課題を達成するために適切なAI活用ができるように推進していきます。

江東区立学校
生成AI利活用
ガイドライン



(児童・生徒向け) KOTO子どもAIルール

安全・安心に生成AIを使い、「みんな、かがやく！」学びのために、以下を守って利用しよう！

「かがやく」：自分の力を高めるために利用しよう

- ・自身の考える力、判断する力、表現する力を高めるために利用する。
- ・自身の考えを広げたり、新たな視点を得たりするために利用する。

「えらべる」：生成AIを利用する場面や取得する情報を選択し、適切に使いこなそう

- ・授業や自習、家庭学習場面で、生成AIを利用する必要があるかどうか適切に判断する。
- ・生成AIの回答が正しい情報か自分で考えて、情報の選択をする。

「ささえる」：社会のルールを守り、自分も相手も傷つけない使い方をしよう

- ・誰かに危害を加えたり、権利を侵したりするような使い方は絶対にしない。
- ・フェイクニュース、ディープフェイク（画像、動画）など有害なコンテンツを作成しない。

[KOTO子どもAIルール]

生成AIを活用した授業を見てみましょう！

AIを「学びの伴走者」にする第一歩！



国語科「俳句を作ろう」

生成AIとの出会いの授業。本校では、生成AIが考えた俳句と自分で考えた俳句の比較をしながら、生成AIの特性を理解していきました。「AIで俳句をつくるのは便利だけど、自分で感じたことを取り入れた方がいい」など、こどもたちは生成AIに答えを求めるのではなく、新たな視点や考えを広げるツールとして活用することに気がきました。ハルシネーション※やKOTO子どもAIルールについて理解しながら、学びの伴走者として効果的に生成AIを活用していきます。

北砂小学校

※生成AIが事実とは異なる情報や架空の情報を生成する現象のこと。

画像生成から広がる新しい美術鑑賞



美術科「鑑賞～ネオ・ジャポニズムを考えよう～」

授業が始まると、生徒は資料集を見て日本の伝統的な浮世絵と西洋の絵画を比較しました。たくさんの共通点が見付かり、日本美術が海外に与えた影響に気がきました。ここで生成AIの出番！生徒はGeminiを活用し、現代の日本の文化と海外の文化を組み合わせた画像を生成します。「自由の女神と日本の城を組み合わせる」「ハンバーガーと寿司を組み合わせる料理の画像を生成して」生徒は自由な発想でプロンプト（指示文）を入力し、生成された画像について感想を交流しました。

亀戸中学校

新学習者用端末を活用したICT教育推進校の取組

令和8年度よりGIGAスクール構想第2期に入り、児童・生徒が使用する学習者用端末が新しくなりました。

ICT教育推進校では、新学習者用端末を活用して様々な実践に取り組んでいます。

新学習者用端末

(Dynabook Chromebook C70)
タッチペンを備え、「タブレット」や「ノートPC」として使い分けられる学習者用端末！

